

2021年度国際版画美術館事業報告書【展覧会版】

| | | | | | | | |
|-------------|---|------------------------|---|---|---------|--------|--------|
| 展覧会名 | 版画の見かた—技法・表現・歴史— | | | 担当者名 | 藤村拓也 | | |
| 会期 | 2021年9月25日(土)～12月5日(日) | | | 開催日数 | 62日 | | |
| 協賛・後援・協力 | なし | | | | | | |
| 巡回館 | なし | | | | | | |
| 展覧会概要 | 版画作品とともに版や道具などを展覧することで、版画の多種多様な技法と表現の面白さを紹介する展覧会。当館のコレクション約3万2千点の中から、著名な版画家だけでなく版画ならではの鑑賞のポイントを持つ作品を展示した。若手の版画家を講師とした版画の実演・体験イベントや、気鋭の評論家による講演会などを実施し、版画を楽しみ、考える機会も提供した。出品件数(点数)は136件(226点)。 | | | | | | |
| ねらい・対象 | 以下の三点によって、版画の魅力をさまざまな視点から来館者に感得してもらうことをねらった。①名も無き職人から世界的に有名な美術家まで、古今東西のさまざまな版画を展示。②版や道具等も展示することで、版画の技法や表現の面白さをわかりやすく紹介。③古今東西の歴史において版画が担ってきた役割を紹介。以上を「版画の技法(凸版、凹版、平版、孔版)」「版画の表現(ライン&グラデーション、カラー、テーマ&モチーフ、コンセプト)」「版画の歴史(信仰、情報)」の三章構成で紹介した。対象は版画についてほとんど知識の無い方から、版画の専門家(研究者・版画家)までの幅広い層。 | | | | | | |
| 関連催事 | 催事名 | 開催日 | タイトル | 講師等 | 参加者数 | | |
| | 記念講演会 | 11月28日(日) | 版画の考えかた | gnck (評論家) | 38人 | | |
| | 制作実演・体験制作① | 10月9日(土) | 版画の作りかた 謄写版 | 神崎智子 (版画家) | 22人 | | |
| | 制作実演・体験制作② | 10月23日(土) | 版画の作りかた 木版画 | 石橋佑一郎 (版画家) | 30人 | | |
| | 制作実演・体験制作③ | 11月13日(土) | 版画の作りかた 銅版画 | 田沼利規 (画家・版画家) | 24人 | | |
| | プロムナードコンサート | 11月20日(土) | 音の楽しみかた | 江澤隆行 (ピアノ) | 163人 | | |
| | ギャラリートーク | 10月17日(日) 11月21日(日) | 版画の楽しみかた | 藤村拓也 (当館学芸員) | 45人 | | |
| 観覧料 | 一般 | 大・高生 | 無料日 | | | | |
| | 800円 | 400円 | 展覧会初日:9月25日 文化の日:11月3日 シルバーデー:10月27日、11月24日 | | | | |
| 観覧者数 | 有料計 | 無料計 | 総観覧者数 | 内、一般 | 内、大・高生 | 内、小・中生 | 内、その他 |
| | 2,804人 | 2,243人 | 5,047人 | 4,398人 | 232人 | 417人 | —人 |
| | 目標値 | | | | | | 5,360人 |
| 主な収入 | 観覧料収入 | 図録販売収入 | 受託販売収入 | その他の特定財源 | | | |
| | 1,808千円 | 0千円 | 7,607千円 | 0千円 | | | |
| 事業経費 | ・講師謝礼 ・展覧会協力謝礼 ・通信運搬費 ・作品額装委託料 ・ポスター等作成委託料 ・ディスプレイ作成委託料 | | | 50千円 300千円 737千円 322千円 942千円 480千円 | 2,831千円 | | |
| 主な広報・取材等の講評 | 【テレビ】Tokyo-MX(会期後「東京藝大で教わる西洋美術の見かた」で展示作品を紹介)、J:COM 【新聞・雑誌】KIRABOSHI、江戸楽、もしもし、イツコムテレビガイド、中外日報、しんぶん赤旗 【ウェブ】ファッション・プレス、インターネットミュージアムほか | | | | | | |

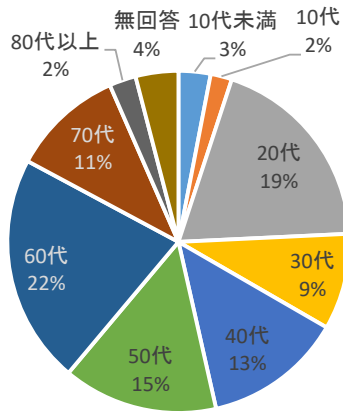
| | 回収数 | 回収率 | 市民率 | リピーター率 | 満足度(とても良かったと良かったの率) | | |
|-------------|---|--|------|--------|---------------------|--------|--------|
| | | | | | 企画の内容 | 展示作品 | 展示の仕方等 |
| アンケート結果 | 231 件 | 4.6 % | 27 % | 51 % | 93.4 % | 91.4 % | 81.4 % |
| | 主なご意見 | 別紙のとおり。 | | | | | |
| 工夫と反省点、改善方法 | 予備調査 | 収蔵品情報のデータベース化作業とあわせて、前年度から作品調査や文献調査などをおこなった。関連催事についても、普及係や講師との打ち合わせを前年度からおこなった。他係や関係者との連絡を密におこなうことで、円滑に展覧会・催事準備を進めることができた。 | | | | | |
| | 作品選択 | 収蔵品情報のデータベース化作業によって、出品機会の少なかった作品の中から版画の魅力を伝えるうえで興味深いものを選択することができた。点数が200点を超えたことにより、展示空間が窮屈になり、動線が複雑になった。結果、来館者にとって見にくい展示になってしまった箇所があった。 | | | | | |
| | リーフレット | 無料配布のリーフレットをA5判16ページで3000部作成した。出品作の図版をできるだけ多く掲載して見やすさと資料性を高めるため、リーフレットの挿図をサムネイル表示した。好評につき、会期終了前に配布を終了することとなった。一方で、今までの展覧会と同様、図録の販売を希望する意見があった。 | | | | | |
| | 広報 | 展覧会の中心作品であり、知名度の高い棟方志功の作品をポスター・チラシのメインビジュアルに採用し、インパクトのある広報印刷物を作成した。またSNS投稿を積極的におこなった。一方で、当館が取り上げられたテレビ番組(TOKYO MX「わたしの芸術劇場」など)が来館のきっかけになった人が多いことから、マスメディアへのさらなるアピール方法を検討していく必要がある。 | | | | | |
| | ディスプレイ | 額に入った作品だけでなく、ケース内に版や道具、模型などを出品することで、版画の作り方も視覚的に理解できる展示をおこなった。会場内で映写した普及係作成の版画制作動画も、わかりやすいと好評だった。ただし出品点数が200点を超えたこともあり、作品が見にくかったり、動線がわかりにくかったりする箇所ができてしまった。 | | | | | |
| | イベント | 記念講演会、制作実演・体験制作、ギャラリートーク、プロムナードコンサートを実施した。デジタル画像を用いた美術の評論家であるgnck氏による講演会は、新たな切り口から版画を考える内容であり、参加者の評価も高かった。普及係との協力によって実施した制作実演・体験制作は、若手の版画家三名(神崎智子氏、石橋佑一郎氏、田沼利規氏)を講師に迎えた。各回定員を満たし、参加者の満足度も高かった。 | | | | | |
| その他特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・リピーター割引、タクシー割引、パスポート割引、シェアサイクル割引を実施し、282名の利用があった。 ・シルバーデー(毎月第四水曜日:10月27日、11月24日)は302人の利用があった。 | | | | | | |

「版画の見かた」展 アンケート集計結果

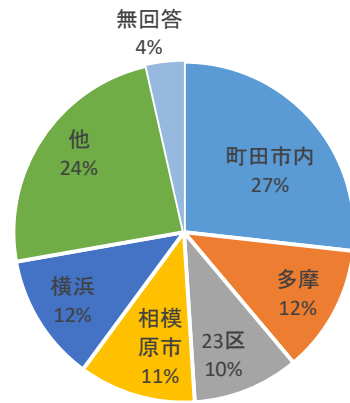
開催期間:2021年9月25日(土)～12月5日(日)

回答者数: 231 人(総入館者数:5,047人 アンケート回収率:4.6%)

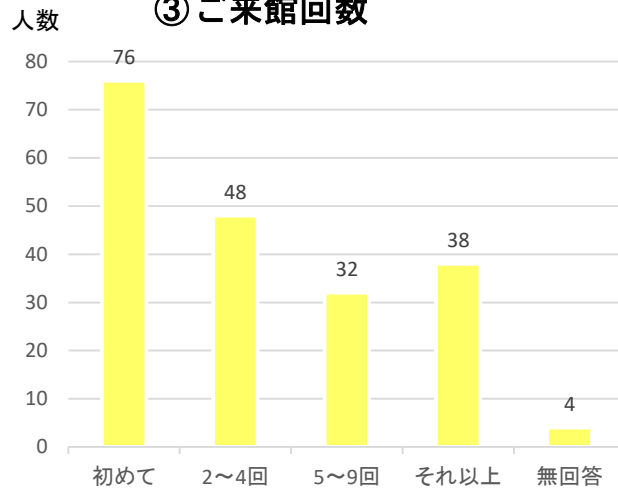
① 年齢層



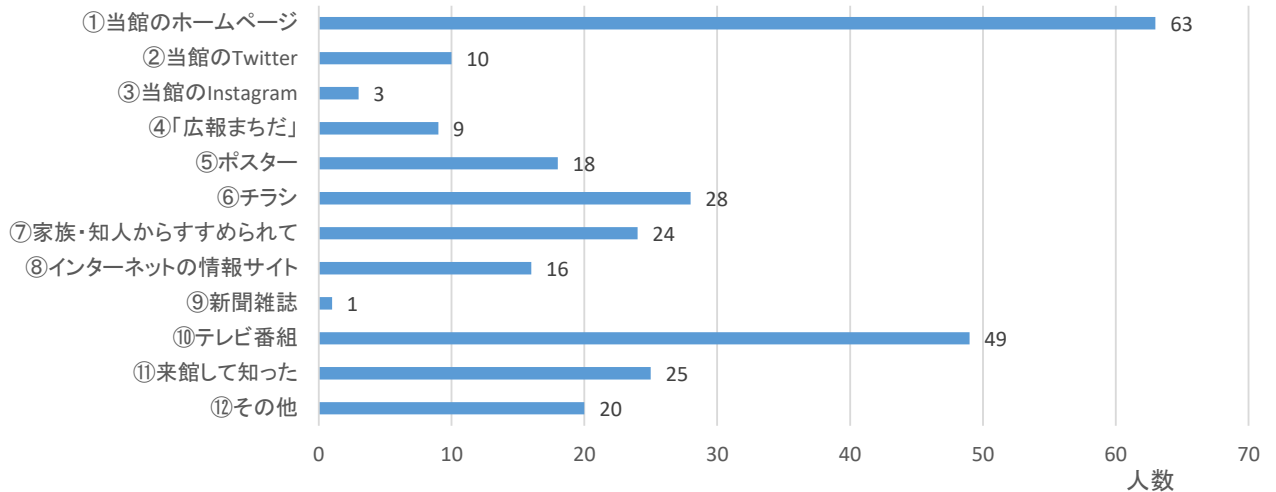
② お住まい



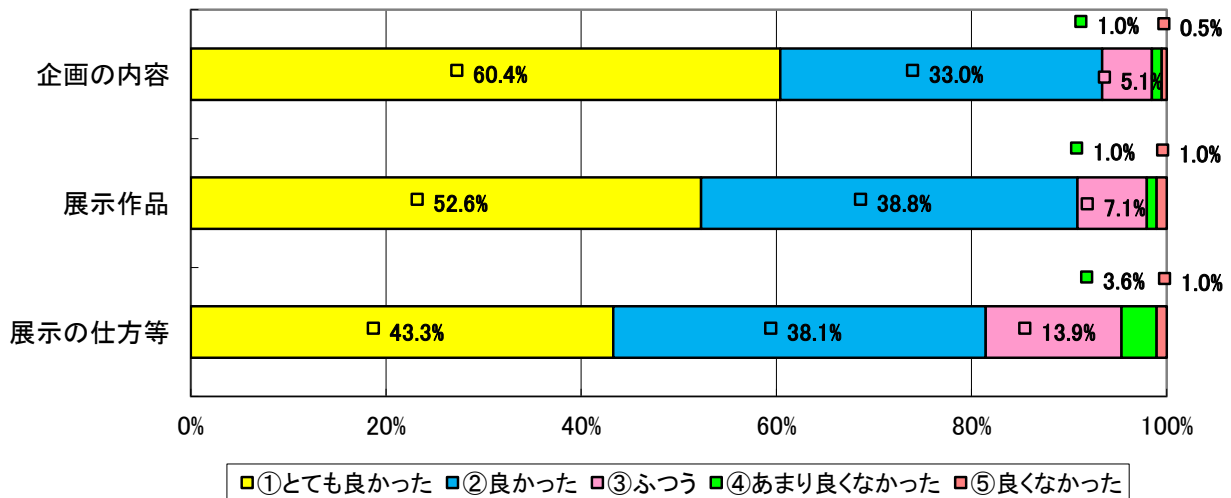
③ ご来館回数



④ 展覧会情報の入手



⑤ 回答者の満足度



⑥ 主なご意見・感想

【内容について】

版画の違いや工程を知ることができ、その良さがわかった。
 版画のイメージがかわった。大変おもしろかった。
 映像を使っの技法の説明は本当にわかりやすかった。
 版画美術館の本気を見た思い。
 わかりやすく順を追った説明だった。
 解説がわかりやすく勉強になった。
 章立てがわかりやすかった。
 制作風景や道具の展示もあって良かった。
 バリエティーに富んでいた。
 若手の作家の作品が見れてよかった。
 解説が少ないように感じた。
 作家・作品の国名を表記してほしい。

【会場について】

サインやキャプションが大きく見やすかった。
 長すぎずテンポよく見ることができた。
 写真撮影可能なものもあり良かった。
 静かに落ち着いて見ることができた。
 映像をもう少し見やすい場所にしてほしかった。また椅子が欲しかった(※会期中に椅子を設置)。
 小声でしゃべっていても注意を受けたが、多少は話しながら見るのも良いのではないか。
 照明が邪魔で、壁の修復跡が気になった。
 額に光が反射して見にくかったので工夫してほしい。
 インターネットにつながらないのが不便。
 撮影可・不可の作品がわかりにくかった。
 順路がわかりにくかった(※会期中に順路を示す矢印シールを床面に貼付)。
 少し寒かった。

【その他】

小冊子もとても良かった。
 図録がないのが残念。
 シャトルバスを続けてほしい。
 音声ガイドがあると良い。
 看視員の視線や動きが気になる。
 観覧料が高くなったので少し不満。
 地元ですばらしい美術館があることをあらためて誇りに思う。